



広島県章

平成 29 年 度

広島県職員採用試験（第2回社会人経験者）

受 験 案 内

～民間企業等での豊富な経験を

広島県の底力を引き出す新たな挑戦に活かしてみませんか～

- 広島県では、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づき、「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の4つの政策分野に重点的に取り組んでいます。
- 「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県を実現しようという意欲あふれる方を募集します。

- | | |
|----------|--|
| ■ 受付期間 | 平成29年8月1日（火）～8月29日（火）17時 |
| ■ 第1次試験 | 平成29年9月17日（日） |
| ■ 試験会場 | 広島 東京 |
| ■ 受験申込手続 | 原則として、広島県電子申請システムにより申込みを行ってください。詳しくは5～6ページを御覧ください。 |

平成29年8月1日
広島県人事委員会

1 試験区分、採用予定人員、勤務先及び職務内容

試験区分	採用予定人員	主な勤務先	主な職務内容
行政（一般事務）	10名程度	知事部局等の各課及び地方機関等	庶務・経理, 予算, 企画・立案, 広報, 調査, 指導, 奨励・振興, 渉外・折衝等

2 受験資格

(1) 次に該当する者

- ① 昭和33年4月2日以降に生まれた者
- ② 申込日時点で、学歴区分に応じた職務経験年数が、別表1の「必要な職務経験年数」を満たす者

【別表1】

学歴区分	必要な職務経験年数
大学卒	5年以上
短大卒 (2年制)	7年以上
高校卒 (3年制)	9年以上
中学卒	12年以上

※1 この表には、代表的な学歴区分のみを掲載しています。詳細な受験資格は、広島県人事委員会ホームページで御確認ください。(http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/recruit/)

※2 職務経験とは、次のいずれかに該当するものとします。ただし、在学中の期間及び連続して1か月を超えて勤務等に従事していない期間（産前産後休暇を除く。）は除きます。

- ① 会社員、公務員、各種法人職員、自営業者等として1年以上継続して勤務（週当たりの勤務時間が、当該事業所等におけるフルタイムの正規社員等の週当たりの勤務時間の4分の3以上のもの又は平均30時間以上のものに限る。）していた期間
- ② 1年以上継続して非営利団体を通じて海外での国際貢献活動に従事した期間

※3 2に該当する職務経験が複数ある場合は通算することができます。ただし、通算は月単位で行い、同一期間内に複数の経験が重複する場合は、いずれか一方の経験に限りませぬ。

(2) 次のいずれかに該当する者は、受験できません。

- ア 日本の国籍を有しない者
- イ 成年被後見人、被保佐人
- ウ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- エ 広島県の機関から懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
- オ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の期日及び場所

区 分	期 日	場 所	
第 1 次 試 験	9月17日(日) 午前9時55分から (受付開始 午前9時20分)	広島会場	J A広島ビル (広島市中区大手町4-7-3)
		東京会場	都道府県会館 (東京都千代田区平河町2-6-3)
第 2 次 試 験	10月28日(土)～29日(日) のうち第1次試験合格通知で指定する日	広島県庁	
第 3 次 試 験	11月19日(日)	広島県庁	

- (注) 1 第1次試験の試験時間は、午前9時55分から午後4時30分頃までです。
 2 第2次試験の時間・場所等の詳細は、第1次試験合格通知の際、お知らせします。
 3 第3次試験の時間・場所等の詳細は、第2次試験合格通知の際、お知らせします。

4 合格発表

区 分	期 日	方 法
第 1 次 試 験 合 格 発 表	10月10日(火)	【掲示】 合格発表日の午前9時に広島県庁掲示板に合格者の受験番号を掲示します。 【本人通知】 合否にかかわらず受験者全員に合否結果を郵送で通知します。 【インターネット】 掲示後、1時間以内に広島県ホームページに合格者の受験番号を掲載します。 (アドレス) http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/recruit/
第 2 次 試 験 合 格 発 表	11月6日(月)	
最 終 合 格 発 表	12月1日(金)	

5 試験成績の通知

この採用試験を有効に受験して不合格となった場合は、試験成績を記載して通知します。

対 象 者	通 知 内 容	通 知 方 法
第 1 次 試 験 不 合 格 者	第1次試験の総合得点、総合順位及び試験項目ごとの得点 ※試験項目ごとの得点は、職務基礎力試験、アピールシート試験及び論文試験の得点となります。	合格発表の際の不合格者への本人通知に併せてお知らせします。
第 2 次 試 験 不 合 格 者	第1次試験と第2次試験の各総合得点、各総合順位及び試験項目ごとの得点	
第 3 次 試 験 不 合 格 者	第1次試験から第3次試験までの各総合得点、各総合順位及び試験項目ごとの得点	

6 試験の方法

試験項目		試験区分		内容
		行政		
		配点		
第1次試験	職務基礎力試験 (択一式) * 1時間30分	○	45	公務に必要な基礎的な知的能力についての筆記試験 (「社会的関心と理解について問う分野」、「言語的な能力を問う分野」、「論理的な思考力を問う分野」の3つの分野から出題)
	職務適応性検査 20分	○	—	職務遂行に必要な適性についての検査
	アピールシート 1時間	○	45	これまでの職歴や様々な活動を通じて培った能力や成果、県職員として働く意欲等に関する自己アピール
	論文試験 1時間30分	○	20	社会人としての経験等を通じて培った専門知識及び能力並びに思考力、構成力等についての筆記試験(800字程度)
第2次試験	面接試験	○	60	使命感、信頼感、コミュニケーション力、判断力、積極性、達成力等についての面接試験 ※2段階の面接を実施します。このうち2回目の面接の冒頭で、経歴に関連するプレゼンテーションを行っていただきます。
第3次試験	面接試験	○	120	使命感、信頼感、コミュニケーション力、判断力、積極性、達成力等についての面接試験 ※個別面接を実施します。

- (注) 1 論文試験は、大学卒業程度で行います。
 2 第2次試験は第1次試験合格者についてのみ、第3次試験は第2次試験合格者についてのみ行います。
 3 各試験項目において、その結果が一定の基準に達しない試験項目が一つでもある場合、他の試験項目の結果にかかわらず不合格となります。また、職務基礎力試験の成績が一定の基準に達しない場合は、アピールシート及び論文は採点されません。
 4 第2次試験の合格者は、第2次試験と第1次試験の論文試験の結果に基づき決定し、第1次試験のうち、職務基礎力試験とアピールシート試験の結果は反映されません。
 5 最終合格者は、第2次試験の結果及び第3次試験の結果に基づき決定します。
 6 *の試験項目は標準化点(素点ではなく平均点及び標準偏差等を用いて算出)を採用しています。
 7 過去の論文試験の問題は、行政情報コーナー(広島県庁南館)、県立図書館及び広島県ホームページで閲覧できます。
 8 試験当日実施するすべての試験項目を受験した場合に限り、有効に受験したものとします。

7 アピールシートについて

第1次試験で実施するアピールシートの内容は、次のとおりです。

●アピールシートの記入事項

1 経歴

職歴、最終学歴、その他経歴(NPOやボランティアなどの地域貢献活動など)を記入してください。

2 志望動機

広島県職員を志望する理由を記入してください。

3 最もアピールしたいこと

経歴に記入した内容のうち、あなたが広島県職員として活かすことができる最もアピールしたいことについて、「どのような目標を立て、どのような状況・場面でどのように行動し、どのような結果が得られたか」を具体的に記入してください。

●アピールシート記入の留意事項

- 当日配付する様式(A4版両面)に試験時間中に記入していただきます。履歴書や資料を閲覧することはできません。
- 1の経歴については3の「最もアピールしたいこと」の記入内容とも関係しますので事実を正確に記入してください。
なお、1の経歴の内容によりこの試験に有利(不利)になることはありません。
- 各項目の枠内に分かりやすく丁寧に記入してください。
- アピールシートは第2次試験の際も参考資料として使用します。
- 提出いただいたアピールシートは返却しません。

